



令和元年度 緑区環境事業推進委員施設見学会

令和元年11月12日(火)、緑区環境事業推進委員施設見学会を開催し「南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場」と「金沢資源選別センター」を見学してきました。参加者から、「見学して良かった。とても勉強になった。改めて分別を徹底したい。」「参加できなかった人にも見せてあげたい。」等のご意見をいただくなど、とても有意義な見学会になりました。

南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場

私たちの家庭から排出されるごみは、燃やすものと資源化するものに分けられます。燃やすごみは、収集車によって焼却工場に運ばれ、焼却を経て、最終的に残った焼却灰が廃棄物最終処分場に埋め立てられます。

2017年に開設した「南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場」は水深35mの海面処分場で、横浜市で稼働する唯一の一般廃棄物最終処分場であり、私たちにとって限りある貴重な財産です。廃棄物を埋め立てる内水面の周りには遮水護岸があり、海域の汚染を防止しています。埋め立てには浮棧橋を使い、これを定期的に移動することで一定の層状に埋め立てていき、最終的に安定した均一の地盤を造成します。



第5ブロック

南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場



燃やすごみは工場で焼却し、焼却灰になります



焼却灰は処分場に埋め立てられます



焼却灰を廃棄する様子

概ね30年で埋め立てがいっぱいに!?



現状の処分量で焼却灰の埋立てを続けた場合、30年程度で容量が満杯になる見込みです。横浜市では最終処分場の延命化を図るため、ごみの減量化に取り組むとともに焼却灰の資源化を計画的に行うことで、概ね50年の運用を目指します。

限りある貴重な財産を少しでも長く活用できるよう、焼却灰を減らすために、家庭から出る燃やすごみの減量化に向けて、分別の徹底とリユースはもとより、リデュース(ごみの発生抑制)の更なる推進に、ご協力をよろしくお願いいたします。

第2ブロックの移り変わり



2001年

2010年

2018年

金沢資源選別センター

資源選別センターは、分別収集された「缶・びん・ペットボトル」を受け入れ、種類別に選別して、再生利用のための処理をする施設です。選別する品目は、ペットボトル、アルミ缶、スチール缶、無色ガラス、茶色ガラス、その他の色のガラスです。ガラスは色別のヤードに貯留し、その他の品目はプレス梱包した後、再生資源として売却したり、容器包装リサイクル法に基づいて指定法人に引き取りを依頼し、再商品化しています。



手作業で分別



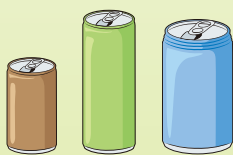
ペットボトル



ペットボトル梱包品にして再生資源に



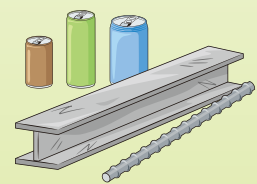
布やペットボトルに



缶



アルミプレス品・スチールプレス品にして再生資源に



再び缶や鉄に



びん



色別に分けて再生資源に



ガラス製品に

長坂谷ストックヤード

○資源物の持ち込みが出来ます！(事業系は不可)

受入日 月曜日から土曜日(年末年始は除く)
 受入時間 9時から16時(11時30分から13時30分はご遠慮ください。)
 回収品目

- (1) 古紙(新聞、雑誌・その他の紙、段ボール、紙パック)
- (2) 古布 (3) プラスチック製容器包装
- (4) 缶・びん・ペットボトル(飲料・食料用)
- (5) 小さな金属類(一番長い辺が30cm未満の金属製品)
- (6) 乾電池 (7) スプレー缶
- (8) 燃えないごみ(ガラス・陶器類、蛍光灯・電球)

※ 燃やすごみや引越しごみ、剪定枝などは持ち込みません！

○粗大ごみの持ち込みが出来ます！(要申込み)

受入日 粗大ごみ受付センターに申込み時に決めた日に限ります。
 受入時間 9時から16時(11時30分から13時30分はご遠慮ください。)

▼申込みはこちら▼

粗大ごみ受付センター

インターネット受付 [横浜市 資源循環局 粗大ごみ 検索](#)

電話での申込み 一般加入電話などからは(ナビダイヤル) ☎ 0570-200-530
 携帯電話やIP電話などの定額制や無料通話などの通話料割引サービスを利用している方は

☎ 045-330-3953

FAX(聴覚・言語に障害がある方専用)

FAX 045-550-3599

